

創造性開発体験教室

公益財団法人刈谷少年少女発明クラブ

《 チャレンジ方法 》

- 1) チーム毎にフロアに集まり、隣のチームと1mほどの間隔を空けて着席してください。
- 2) チームメンバーの中でキャプテンを選んでください。
- 3) 君たちがチャレンジする課題は、チームで解決します。
キャプテンを中心に、各チームでしつかり解決方法を相談して決めなさい。
独創的なアイデアや、楽しいアイデアを考えてください。
また、アイデアを組み合わせるのも良いでしょう。
- 4) 解決案が決まったら、実行するための作戦や役割分担を決めましょう。
- 5) 質問があれば、いつでも質問してください。

遠くまで飛ぶ飛行体を作りなさい

1) 各チームに次のものが与えられます。

A4のチラシ紙 2枚

20×40mmのラベル 5枚

2) ラベルに1～30まで書いてあります。その番号がチーム番号です。



遠くまで飛ぶ飛行体を作りなさい

- 1) 君たちが問題を解く時間は、8分です。
質問や、話し合いはいつしてもいいです。スタート後は時間は止まりません。
- 2) 課題は、"与えられた材料を使って、飛行体をつくる。"ことです。
飛行体には、チーム番号のラベルを分かるように貼ってください。
- 3) チャレンジタイムが終了したら、チームの代表者がジャッジの合図で、
スタートラインから飛行体を遠くへ移動させます。
- 4) 以下のように点がつけられます。
 - A. スタートラインから停止位置までの距離、1Mあたり1点が得点となります。
 - B. 発想の良さ・ユニークさで、1~20点の得点が与えられます。
 - C. チームワークの良さで、1~20点の得点が与えられます。

アイデア発想ゲームは、楽しかったですか？

いろいろなゲームをしましたが、たくさんのアイデアを発想できましたか？

- ・アイデアを考えることは、難しいことではないですね。
アイデアを考える時に、これはダメ！あれはダメ！と自分で枠をはめない。
枠を取っ払っていろいろ考えよう。
- ・身近な材料で、普段体験したことの応用から、素晴らしいアイデアが生まれると思います。
- ・知識の積み重ねからも 次々とアイデアが発想できるようになります
- ・そして、その中に素晴らしい “ひらめき”も生まれてくることでしょう。

課題に出会った時、いろいろな発想をしましょう。頭脳をフル回転させて、
いっぱいアイデアをだしましょう。

その中で、一番素敵なアイデアが課題のベストな答えです。

この教室が参考になって、素敵な創意工夫作品ができるることを願っています。

ご指導の先生・保護者の皆さんへ

創造性開発訓練のひとつとして、刈谷のクラブで実施している訓練について、紹介しました。

子どもたちの創造性を伸ばす方策として、与えられた課題に対して、短時間で機知に富んだ回答を引き出す訓練です。

私どもが取り組みの中で、特に心がけていること

大人の感覚や経験値で子どものアイデアをNGとすることは、絶対にしない。

子どもの発想したアイデアは優劣の差こそあれ、全て正解である。

世の中で良く知られている事柄であっても、その子にとって最初の創造であり発見であることが多いと思います。

そして、この発想こそが、創造性の芽を育てる素晴らしいチャンスだと考えられます
楽しみながら学ぶように、こどもたちの心にワクワク感を生み出すように 指導する
こどもが批判を恐れずに、自分のアイデアや提案を自由に表現させる

こうした過程を通して、生きた知識を吸収し、さらに創造的な意欲を喚起させ、いろいろな所で創造的な活動を実践する。

これこそが 創造的な能力の育成と考えています。